



国際ロータリー第2520地区岩手第1分区
盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 30 (通算2003回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>

E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

会長 原田誠章 / 幹事 佐藤百合子
事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
盛岡グランドホテル内
TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391
例会場 盛岡グランドホテル
TEL 019-625-2111
例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

会長挨拶 原田誠章



皆さんこんにちは。
大船渡の山火事は鎮圧宣言が出されましたが、まだ鎮火ではありません。未だ避難してる方々も居ます。可能な範囲の支援金をお願いします。

また明日で東日本大震災から14年になります。最近では後発地震に注意するよう報道されてるので地震が起きた際には気をつける必要があります。

先週金曜にRLIファシリテーター研修会に参加された方々はお疲れ様でした。パート2が22日に開催されます。ファシリテーターも受講される方もクラブ発展のためにも良い機会になります。

本日も宜しくお願いします。

卓話 浦田秀夫 『アイスホッケーについて』



2024-2025年度テーマ



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック
第2520地区ガバナー 佐藤剛 (水沢RC)

昼例会

司会：瀧澤慶太郎
日時：2025.3.10(月) 12:30
会場：盛岡グランドホテル
ロータリーソング
我等の生業

次回プログラム

- 3月17日(月) 18:30 夜例会 すぺいん倶楽部
- 3月24日(月) 昼例会 ゲスト卓話
山梨ダルク代表理事 佐々木広 氏
俳優、タレント、歌手 高知東生 氏
「薬物乱用について」
- 3月31日(月) 特別休会
- 4月2日(水) アルペン手形花壇 植栽 9:00～
もりおか歴史文化館 アルペン花壇
- 4月5日(土) 家族親睦いちご狩り 八幡平彩花園
- 4月14日(月) 理事会 11:30 昼例会
卓話 佐藤誠司会員
- 4月19日(土) 地区大会 会長幹事会 歓迎晩餐会
- 4月20日(日) 地区大会本会議 13:00
会場：奥州市文化会館Zホール
地区大会懇親会 17:10
会場：プラザイン水沢

◇幹事報告 佐藤百合子

諸事お知らせ

3月レート1ドル 150円

会長エレクトラーニングセミナー (PELS)

日時：4月6日 (日) 9:30 受付

セミナー10:00~15:00

会場：育英学園高校宮城野校舎大会議室

◇委員会報告 社会奉仕委員会

アルペン花壇植栽ボランティア案内

日時：4月2日 (水) 9:00

会場：アルペン花壇

◇スマイル報告 菅野輝明

原田誠章君

本日も宜しくお願い致します。

佐藤百合子君

本日も宜しくお願い致します。

浦田秀夫君

本日の卓話、つまらない話です!!

菅野輝明君

本日も宜しくお願い致します。

◇出席報告 佐藤賢司

会員数25名 出席数13名 欠席数12名 出席率52%

メーキャップ

3/7RLIファシリテーターセミナー

原田 北島 柴田GN

・大船渡山火事災害支援金

・個人寄付金

R財団：菅野輝明・原田誠章

米山記念奨学会：原田誠章

【財団室NEWS】

【キノコ栽培で収入の機会を生み出す】

貧困に苦しむ人びとのために副収入の方法を見出すインド東部の都市ブバネシュワールの貧しい地域で、地元の人びとは意外な収入源を見出しました。それは、キノコの栽培です。サリア・サヒという地域は、オリッサ州で最も人口密度が高く、貧しい地域の一つです。人口10万人の大部分が移住者で、安全な水の供給といった必要なインフラが欠けており、多くの人びとが自分や家族の生活を支えるのに苦労しています。「私は公園の庭師として月に約2万円の収入を得ています。それに加えて、今ではキノコの栽培で副収入があります」と話すのは、この地域に15年間住んでいるマミナ・ムンダさんです。彼女は、ロータリー主導のキノコ栽培に関するワークショップに参加した約120人の女性の一人です。文：

Etelka Lehoczky

貧困に苦しむ人びとのために副収入の方法を見出すキノコを収穫する。キノコは3~4週間で収穫可能なサイズに成長します。最も重要なのは、人びとがこれらのワークショップで学んだことを生かして、今後ずっとインパクトをもたらしていけることです。キノコの栽培がいかに簡単であるかを学んだムンダさんは、隣人たちにも栽培方法を教えました。今では、みんなで力を合わせています。ムンダさんはさらに、キノコ栽培によって別の収入を得る方法も見つけました。栽培ができなくなったわらを販売するというものです。「キノコを収穫した後、残った培地を堆肥として売ると、1キロ約39円の収入になります。複数の収入源のおかげで生活が格段に良くなりました」

キノコの栽培方法

1. 適切な室内の空間を見つける。キノコは、直射日光の当たらない涼しく湿った環境を好みます。
2. 容器を見つけ、培地の材料を集める。培地には、わら、木片、おがくず、肥料、さらには挽いたコーヒーなどがあります。
3. バクテリアやカビの繁殖を防ぐために培地を殺菌する。わら、おがくず、木片を使用している場合、水と水和石灰（水酸化カルシウム）の溶液に約12時間浸します。
4. キノコを植える。キノコの孢子や菌糸を使うことができます。キノコが育ちやすいように、容器に穴を開けるとよいでしょう。
5. スプレーを使用して、1日2回水で培地を湿らせる。キノコを収穫する。キノコは3~4週間で収穫可能なサイズに成長します。

キノコ栽培のもう一つの主な利点は、手間がかからないことです。培地を準備し、孢子や菌糸を植えつけたら、涼しく暗い場所で湿った状態を保ち、スプレーで定期的に湿らせるだけです。ブバネシュワール・フラミンゴ・クラブのワークショップのリーダーとなったのは、オリッサ州チャウドワール・ロータリークラブ会員のジェイシュリー・モハンティさんでした。彼女は、キノコの包装と販売価格について参加者にアドバイスしました。しかしその前に、栽培プロセスをしっかりと習得してもらう必要がありました。「キノコの成長の各段階の写真を女性たちに見せました。彼女たちが簡単にできそうだと思うてるのが分かりました」とモハンティさん。モハンティさんとシンハさんは、収入を得る方法があまりないサリア・サヒの女性たちと特に協力したいと希望していました。アメリカ・コルカタ・ロータリークラブ（インド）の会員たちも、昨年同様のプログラムを立ち上げました。同クラブの常任幹事であるニランジャン・ミトラさんは、次のように話します。「夫たちが日雇い労働者で、多くても1日約400~600円しか収入がありません。彼女たちは子どもの教育のためのお金を必要としています。家族がより良い生活ができるよう、収入を増やす機会を提供したいと思ったんです」ウムアヒア・ノース・ロータリークラブ（ナイジェリア）の会員たちも、職のない女性たちが収入源を得るための支援をしたいと考えていました。若い男性も含め、最終的に200人が参加するワークショップを実施しました。クラブの常任幹事であるエメカ・ソブラチさんは、新たな収入源だけでなく、目的意識を持つことも大きな変革につながると話します。「地域社会を訪れて、住民から話を聞き、私たちに何ができるのかを判断しました」。調査で分かったのは、収入を増やしたいと思っている人が大勢いること、また、キノコを栽培して売するのに十分な時間があるということでした。ミトラさんによると、キノコの栽培は資金も土地も必要としない数少ないビジネスの一つです。「初期投資は最小限で、投資額の15倍の収入が期待できます。私たちの地区では、1カ月あたり約8,200円の収入を得ることができます」

2月号より抜粋